

# 工場廃熱活用システムの導入における補助金とリースの活用事例

石井 直人 (いしい なおと) 三菱UFJリース株式会社 環境・エネルギー事業部

**要約** 廃熱活用システムを始めとした、主にユーティリティー設備の更新や導入による省エネルギー（以下、省エネ）事業を計画する際、補助金活用による設備導入費用負担の軽減を想定したケースが増えている。同じ省エネ事業であっても支援する補助制度が複数存在する場合があります、その補助制度の選び方や申請方法により、補助金交付のメリットを享受出来るかどうか変わってしまう事がある。リース会社の中でも補助金申請や交付実績の多い三菱UFJリースでは、過去実績から統計的に申請内容を分析するなどして、様々な省エネ事業に関する相談に対し、適切な補助制度の活用と共同申請による補助金活用業務のサポートを行なってきた。ここでは、省エネ設備投資の新しい考え方の一つとして、リースと補助金を活用することで普段とは異なるアプローチにより省エネ事業が推進出来た事例などを紹介する。

## 1. はじめに

省エネ関連の補助金採択結果をご覧になられた経験がある方は、リース会社が省エネ設備投資を行う事業者と連名で採択を受けている事業を見たことがあるのではないかと。一方で、普段リースに馴染みのない方は、オフィスだとプリンター・複合機やパソコン、自動車のオートリースくらいは想像できるかも知れない。

昨今、ユーティリティー設備をリースで導入する事業者が増えている。理由としては、冒頭申し上げた省エネ関連補助金の予算が近年、増額傾向にあることが一因と考えられる。

今となっては大分定着している省エネ関連補助金であるが、弊社はリース会社の先駆けとして15年以上前から省エネ設備更新の補助金活用の支援を続けてきたことから、社内に体制を整えていることは元より、補助金活用のノウハウが蓄積されている。

そこで次頁より、実際に「リース+補助金」で廃熱活用システムを導入した省エネ事業の提案事例及びリース会社との補助金活用のイメージを紹介する。

## 2. リースの仕組みについて

リース取引は一般的に、「企業が機械・設備・自動



図1 三菱UFJリースの環境関連ビジネス